

令和元年度事業報告及び附属明細書

公益財団法人東京防災救急協会

令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

都民が安心して暮らせる社会の実現を目指し、防火・防災・救急業務関係者の育成及び都民の防火・防災・救急の意識と行動力の向上に関する事業を積極的に推進した。

I 公益目的事業

防火・防災業務関係者の育成、都民の防火・防災意識と行動力の向上、応急手当の普及啓発及び救急需要対策等を目的として、次の事業を実施した。

1 公1事業

(1) 防火・防災・応急手当普及啓発事業 (公1-1)

ア 普及啓発事業

- (7) 「SAFETY LIFE TOKYO」の発刊 (4回 83,000部)
防火・防災・救急に関する多角的な情報を掲載し、都民や防災事業関係者等に配布した。
- (8) ホームページ、SNS等を活用した情報提供及び各種講習案内等
 - ・法に基づく公告のほか、協会の事業概要、財政状況及びコンプライアンスに係る情報等、都民への見える化に寄与した協会の経営情報等の発信
 - ・各種講習、イベント、救命講習の案内及び申込受付等
インターネットによる救命講習申込を促進させ、受講者における手続き負担の軽減及び受付事務の簡素化、効率化を図った。
(インターネットによる申込者 17,735名)
- (9) 火災予防運動週間における防火・防災普及事業
秋、春の全国火災予防運動週間に併せ、次の事業を実施した。
 - ・秋、春の火災予防運動週間に防火・防災に関する講演会を実施
 - ・火災予防運動週間ポスターの作成 (49,000枚 (秋・春))
- (10) 危険物安全週間、防災週間等における防火・防災普及事業
危険物安全週間等に併せ、次の事業を実施した。
 - ・危険物安全週間ポスターの作成 (24,800枚)
 - ・防災週間ポスターの作成 (16,200枚)
 - ・適正な火気使用器具等取扱い周知用リーフレットの作成 (21,100枚)
 - ・優良防火対象物認定表示制度の普及、広報用品の作成 (16,000個)
- (11) 各種イベント事業
各種イベントに参加し、各種情報の提供、防火・防災意識の向上及び応急手当等の普及啓発や防災、救急用品の展示等を実施した。
 - ・消防技術安全所一般公開 (4月20日)
東京消防庁消防技術安全所一般公開において来場者へ広報活動を展開しながら、防火防災思想の普及活動を実施した。
 - ・東京マラソンオフィシャルリレーハーフマラソン (5月18日)
東京マラソンチャリティ団体として、オフィシャルリレーマラソンに参加し、応急手当の普及促進を行うとともに、協会の事業の紹介等、広報活動を展開した。

・丸の内キッズジャンボリー

(8月13日～15日 総来場者115,491名)

東京国際フォーラムにおいて開催された本イベントに事業参加し、キッズ向けの各種コーナー(「防災体験!キッズ消防隊」、「レスキュー隊デモンストラーション」、「VR映像で防災体験」)を通じて防災行動力の向上を図った。

・東京消防庁救急セミナー

(9月9日)

都民の救急業務及び救急医療に対する理解と認識を深めることを目的とした本セミナーの運営管理及び救命講習を実施した。

・キッズホスピタルランド2019

(11月24日)

東京都医師会主催の本イベントに参加し、展示コーナーを開設してAEDの使い方や応急手当の普及活動を実施した。

・東京消防出初式

(1月6日)

新春恒例の東京消防出初式に参加し、都民に対する防火・防災思想の普及とその高揚を図ることを目的として、屋内展示に参加するとともに特設売店を設置し、来場者へ防災用品を販売した。

(カ) 公募による防火・防災意識の普及啓発事業

・防火防災標語公募事業

東京消防庁が主催する本事業に参加し、都民の防火防災への参画意識の高揚を図るため、次の事業を実施した。

最優秀賞等表彰式

(3月中旬)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響(以下、※印は同様とする。)表彰方式を、受賞者の学校等における個別贈呈へ変更とした。

防火防災標語公募チラシの作成

(36,000枚)

・第16回地域の防火防災功労賞

地震災害や風水害等の自然災害の未然防止や被害の軽減に係る自主防災組織(町会、自治会等)、ボランティア団体等(PTA、NPO法人を含む)及び事業所等の効果的な取り組みについて、東京消防庁が実施する本表彰事業に参加し、選考委員会への参画をはじめとした次の事業を実施した。

最優秀賞等表彰式

(1月17日)

取組み等について事例集の作成

(12,000冊)

(キ) 自主防災活動等に対する助成事業

防火・防災思想の普及活動を行う団体、応急手当の普及啓発を行う団体を対象に公募し、当該普及活動等に対し助成した。(279件)

(ク) 応急手当普及事業

・救急医療週間における応急手当普及事業

(9月9日)

東京消防庁が主催する次のセミナー及び表彰の後援を行い、応急手当奨励制度の周知促進及び応急救護に積極的に取り組むことの重要性を発信した。

救急セミナーにおける普通救命講習の実施

(116名)

第6回地域の応急手当普及功労賞表彰式

・救急車の適正利用の普及促進

年々増加する救急出動件数及び軽症者の搬送抑制を目的とした、東京消防庁の救急施策に協力し、都民に対して次の広報活動を実施した。

救急医療週間に合わせたリーフレットの作成・配布(200,000枚)

(ケ) 救急救護業務に係る機関への協力事業

- ・福祉保健局、東京都医師会等と連携した各救命講習の実施

墨田区医師会における普通救命講習 (2回 計96名)

江東区医師会における普通救命講習 (2回 計85名)

東京マラソンボランティアリーダー向け上級救命講習 (70名)

福祉保健局子育て支援事業における普通救命講習
(43回 計2,460名)

国立極地研究所第61次南極地域観測隊夏期総合訓練者への上級救命講習
(75名)

- ・東京マラソン2020における救護指示センターの運営協力 (3月1日)

- ・東京オリンピック・パラリンピック競技組織委員会関係者に対する普通救命講習会の実施 (44回 計2,862名 年間計画者数3,500名)

イ 消防用設備等点検済表示制度事業

消防法第17条の3の3の規定に基づき、防火対象物の関係者は、消防用設備等を定期的に点検し、その結果を消防署長に報告することが義務付けられており、本制度は資質の高い点検業者によって点検されていることを推進する目的として、次の事業を実施した。

- (7) 制度をより浸透させるための広報の実施及び点検済票貼付の促進

(表示登録事業者 338事業所 交付枚数 816,042枚)

- (4) 登録事業者に対する講習の実施 (実技1回80名、学科1回99名)

- (9) 点検推進指導員による登録申請内容の確認事務の実施 (57件)

ウ 救急車同乗研修者の研修成果向上と安全確保に係る支援事業における感染防止資器材等の斡旋 (812件)

エ 東京民間救急コールセンター運営事業

- (7) 救急需要対策として民間救急及びサポートC a bの利用促進のための広報の実施

- ・リーフレットの配布及びポスターの掲出

- ・東京消防出初式等各種イベントに参加し、車両展示等のPR活動の実施

- (4) 民間救急・サポートC a b利用者へ配車案内及びレベルアップ方策の実施

- ・配車受付 (1,648件)

- ・コールセンター協議会員に対する教養及び訓練の実施 (16回)

(2) 防火・防災・応急手当講習事業 (公1—2)

ア 法令等に定められた資格取得講習

- (7) 防火安全技術講習 (本講習3回214名、再講習3回212名)

- (4) 防火管理技能講習 (本講習4回737名、再講習7回713名)

- (9) 消防設備点検資格者講習

(本講習9回1,130名、再講習24回3,611名)

- (2) 地下タンク定期点検技術者講習 (定期3回279名、初回3回121名)

- (7) 移動タンク定期点検技術者講習 (定期1回91名、初回1回51名)

- (8) 可搬消防ポンプ等整備資格者講習

(一般講習1回47名、再講習1回69名、特例講習1回65名)

- (3) 防火対象物点検資格者講習 (本講習2回249名、再講習5回889名)

- (7) 防災管理点検資格者講習 (本講習2回213名、再講習4回764名)

※ 講習計5回1,042名を754名に縮小、288名減少

- ※ 講習1回198名を2会場に分散して実施
- イ 資格取得のための受験準備講習会
 - (7) 危険物取扱者試験受験準備講習会（甲種2回63名、乙種14回780名）
 - (4) 自衛消防技術試験受験準備講習会（30回 1, 919名）
 - (7) 小規模社会福祉施設の勤務者のための防火実務講習会（18回265名）
- ※ 講習会計2回169名を休止
- ※ 実務講習、事業所辞退1回40名、延期1回40名
- ウ 応急手当の普及啓発に関する講習会等

受講者や各種団体の多様なニーズ等に応じた講習の実施

 - (7) 救命サポート講習（56回 1, 339名）
多様な受講者のニーズに対応したオーダーメイド形式の講習を実施した。
 - (4) 大規模事業所における救助・救命講習（220回 5, 465名）
平成23年の東日本大震災を契機として、救助・外傷処置・搬送法に特化した震災時における救助・救命講習を大規模集客施設等の職員を対象に実施した。
- ※ 講習計26回960名を中止
- (7) 東京マラソン参加者、ボランティア等に対する大規模救命講習
（1月18日 255名）
「東京マラソン2020に向けた普通救命講習会～身につけよう応急手当～」(東京マラソン財団主催)において、ランナーやボランティアの方を対象に、AEDを用いた心肺蘇生の実技や止血法等の講義、マラソンランナーが急病になった想定で実践的な訓練「シナリオトレーニング」を実施した。
- エ 防火安全セミナー（7月1日 278名）
火災予防業務を適正かつ円滑に推進するため、事業所等の関係者に対し、消防関係法令の改正等に関する説明会を東京消防庁予防課が開催し、協会が本セミナーに協力した。
セミナー内容
 - (7) 東京消防庁管内の火災状況
 - (4) 法令改正関係
 - (7) 自衛消防活動中核要員算定基準の改正について
 - (2) 消防用設備等点検結果報告書関係様式の改正について
 - (4) 消防用設備等の奏功事例、非常用設備の事故事例について
- オ ワクワク！防災体験教室（8月25日 280名）
東京消防庁の防災週間啓発事業として開催された本イベントに協力し、子育て世代や子供を対象にした防災グッズ作りや親子防災講座等を次のとおり実施した。
 - (7) アウトドア流防災ガイド（あんどうりす 講師）
 - (4) パパママのための震災時子どもの健康管理（田中 眞希 講師）
 - (7) わくわく！防災縁日、ミニ防火衣、ミニ消防車、体験コーナー等
- カ 室内安全セミナー（8月28日 229名）
東京消防庁震災対策課に協力し、家具類の転倒、落下、移動防止対策をはじめとした震災時の室内安全対策の必要性を専門家の知見を得ながら、多角的な視点にて啓発活動を実施した。
セミナー内容

(7) 講演
「南海トラフ地震の実像－正しく知り・備える」
東京大学地震研究所 古村 孝志 教授

(4) 情報提供
「地震時の室内安全対策の推進について」
東京消防庁防災部震災対策課 震災対策係長

※ 例年、年度内2回（8月期と3月期）のところ3月期を中止

(3) 防火・防災・救急関係調査研究事業（公1-3）

防火・防災・救急に関する情報の収集及び調査研究

ア 防火・防災の意識と行動力の向上に関する調査研究

イ 救急指導能力向上に関する調査研究

応急手当に係る最新の知見・指導手技及び講習指導に関する救命救急を取巻く最新の動向等について情報収集を実施

・第22回日本臨床救急医学会総会兼学術集会（5月30日～6月1日）

・第28回全国救急隊員シンポジウム（1月29日～31日）

ウ 指導員の技能向上及び効果的な講習の実施要領に関する調査研究

指導員の技能向上及び効果的な講習の実施要領に関するワーキンググループを発足し、全4回にわたり指導向上検討会を実施した。

(4) 試験確認事業（公1-4）

ア 少量危険物タンク試験（5件）

イ 金属製180缶等試験（11件）

(5) 患者用救急自動車運行事業（公1-5）

ア 小児・新生児病院救急車運行事業（出動360件、搬送人員348名）

府中市の「都立小児総合医療センター」において、都が小児医療対策として実施する事業のうち、ドクターカーの運行業務について救急救命士等を保有している職員により実施した。

イ 東京都福祉保健局緊急自動車運行事業

（出動1,136件、搬送人員1,043名）

東京都福祉保健局の緊急自動車運行を受託し、病院間搬送等の緊急搬送業務を実施した。

2 公2事業

(1) 防火・防災・消防講習事業（公2-1）

防火管理者、防災管理者、危険物取扱者及び消防設備士の育成を目的とした次の事業の実施

ア 防火・防災管理講習事業

(7) 防火・防災管理新規講習（201回 32,197名）

(4) 防災管理新規講習（8回 1,001名）

(6) 乙種防火管理講習（37回 2,900名）

(5) 甲種防火管理再講習（25回 4,079名）

(4) 防火・防災管理再講習（11回 1,275名）

※ 講習計23回2,672名を休止

イ 消防講習事業

(7) 危険物取扱者保安講習（33回 5,734名）

(4) 消防設備士講習（43回 9,049名）

※ 講習計3回756名を休止

(2) 救命講習事業 (公2-2)

都民の応急手当の知識技術の向上を目的とした事業の実施

ア 普通・上級救命講習	(5, 760回 201, 304名)
イ 指導者用救命講習	(279回 3, 144名)
ウ 現場派遣員用救命講習	(30回 649名)
エ 患者等搬送乗務員用救命講習	(24回 529名)
オ 救命講習ポスターの作成	(28, 700枚)

※ 講習計57回1, 942名を中止

3 公3事業

消防に関する歴史的な遺産、装備の展示施設を活用した防火防災思想の普及啓発、火災や地震等の模擬体験施設を活用した防災行動力の向上を目的とした事業の実施

(1) 消防博物館運営事業 (公3-1)

消防防災資料センター(消防博物館)において、所蔵品の公開展示、各種特別企画展等を実施するとともに、体験型防災学習装置等を積極的に広報し、来館促進を図った。(来館者212, 499名)

※ 2月29日から3月31日まで臨時休館

ア 企画展

- ・ゴールデンウィーク企画展「消防のりもの大集合！」
(4月27日～5月12日)
 - ・平成の災害を振り返る(6月1日～30日)
 - ・夏の特別展「火災原因調査－原因究明のメカニズム」
(7月20日～9月1日)
 - ・防災週間・救急医療週間ミニ展示(8月30日～9月16日)
 - ・平成の消防車両紹介(9月14日～10月14日)
 - ・都民の日特別企画(10月1日)
 - ・秋の企画展「特別救助隊発隊50年」(11月2日～12月1日)
 - ・防災とボランティア特別展(1月4日～1月26日)
 - ・冬の企画展「救急隊の今、昔」(2月15日～28日)
- ※ 救急隊の今、昔(2月29日～3月15日)を中止
※ 東日本大震災展(3月1日～3月15日)を中止

イ イベント

- ・宝探しツアー(4月1日～4月7日)
 - ・親子防災体験(教育庁連携事業4月1日～3月31日)
 - ・ミュージアムコンサート(7月28日)
 - ・四谷消ぼう祭(四谷消防署連携事業8月24日 来場者2, 000名)
新はしご車との記念撮影、親子で楽しみながら学べる防火防災体験ブース設置、防火防災実験等のイベントの実施
 - ・クイズラリー(12月7日～28日)
 - ・防火マジックショー(12月21日)
- ※ ミュージアムコンサート(3月1日)を中止
※ 宝探しツアー(3月20日～3月31日)を中止
※ 防災マジックショー(3月21日)を中止

ウ 乗車撮影会

- ・「イベコ・マギルス梯子自動車」(4月14日)
- ・「スタッツ消防ポンプ自動車」(6月16日)
- ・「トヨタ救急自動車」(9月8日)
- ・「ベンツ・メッツ梯子自動車」(10月14日)
- ・「アーレンス・フォックス消防ポンプ自動車」(12月1日)
- ・「いすゞ・メッツ梯子自動車」(1月13日)
- ・「イベコ・マギルス梯子自動車」(2月11日)

※ 乗車撮影会「スタッツ消防ポンプ自動車」(3月20日)を中止

(2) 防災館運営事業 (公3-2)

池袋・立川・本所都民防災教育センター(防災館)において、火災や地震等の模擬体験施設の活用、特別企画展等の実施、自由に学習できる環境の充実、防災体験カードのデザインを一新すると共に、池袋防災館において開館日を拡大(毎月第2、第3及び第5火曜日を開館)するなど、利用者の利便性の向上を図った。

(3館合計の来館者262,546名)

※ 2月22日から3月31日まで臨時休館

立川防災館配置の起震車による出向型防災訓練指導を実施した。

(訓練件数248件、体験人員28,622名)

※ 訓練の予約キャンセル30件

ア 池袋防災館

(ア) 企画展

- ・防災週間特別展(8月30日～9月9日)
- ・秋の火災予防運動特別展(11月9日～15日)
- ・特別展「住宅火災を防ごう！」(12月7日～28日)
- ・防災とボランティア週間特別展(1月15日～22日)
- ・春の火災予防運動特別展(3月1日～3月8日)

(イ) イベント

- ・新米パパママ応急手当講習会(毎月第3日曜日)
- ・親子防災体験(通年)
- ・GWこどもの日特別企画(親子で防災体験、消防車をバックに記念撮影)
- ・防災ブック活用促進週間(7月1日～9月30日)
- ・クリスマス特別企画(サンタと一緒に防災体験)(12月21日)
- ・防災館ナイトツアー(毎週金曜日)

※ 新米パパママ応急手当講習会3月分を中止

イ 立川防災館

(ア) 企画展

- ・ゴールデンウィーク特別企画(4月27日～5月6日)
ハイパーレスキュー隊等、立川防災館施設紹介
- ・夏休み特別企画(7月20日～8月25日)
最新特殊消防車両の紹介
- ・防災週間特別展(8月30日～9月8日)
過去の大震災から学ぶ
- ・秋の火災予防運動特別企画パネル展示(11月2日～11月17日)
- ・土砂災害防止特別展示(都建設局連携事業12月6日～12月19日)

- ・防災とボランティア週間特別展（1月11日～1月22日）
- ※ 春の火災予防運動特別展（2月29日～3月8日）を中止
- (イ) イベント
 - ・新米パパママ応急手当講習会（毎月第2土曜日）
 - ・ゴールデンウィークイベント
 - 「家族で出場！火災現場に急行せよ」（5月3日）
 - ・ハイパーレスキュー隊見学会（5月5日）
 - ・防災ミニコンサート（8月3日）東京消防庁音楽隊による演奏
 - ・ナイトツアー（8月10日）
 - ・立川市役所広報ブース開設（8月29日～9月4日）
 - ・立川市消防出初式における広報ブース開設（1月12日）
- ※ 立川消防フェア中止（3月5日）を中止
- ※ 新米パパママ応急手当講習会3月分を中止

ウ 本所防災館

- (ア) 企画展
 - ・水防月間特別展（都建設局連携事業5月9日～6月4日）
 - ・防災週間特別展（8月22日～9月10日）
 - ・秋の火災予防運動特別展（10月31日～11月19日）
 - ・土砂災害防止特別展（都建設局連携事業11月21日～12月3日）
 - ・防災とボランティア週間特別展（1月9日～1月21日）
 - ※ 春の火災予防運動特別展（2月27日～3月10日）を中止
- (イ) イベント
 - ・新米パパママ応急手当講習会（毎月第3土曜日）
 - ・フレッシューズフェア（4月1日～4月7日）
 - ・3D映画特別上映会開催（毎土日・祝日）
 - ・ゴールデンウィーク特別企画（5月4日～6日）
 - こどもの身近な事故防止パネル展示、「こども防災クイズコーナー」開設、おやこ防災体験
 - ・親子防災体験（教育庁連携事業7月1日～9月30日）
 - ・子どもの事故防止週間特別企画（消費者庁連携7月22日～8月1日）
 - パネル展示、吉本芸人によるステージイベント（7月22日）
 - ・夏休み特別企画（7月20日～8月28日）
 - 小・中学生対象事故防止パネル展示、ロープ結び方講座
 - ・ナイトツアー（8月17日）
 - ・冬休みこども特別企画（12月20日～1月7日）
 - 「ぼうさいめいろ」、「おやこ防災たいけん」、親子で消火避難体験
 - ※ フレッシューズフェア（3月21日～31日）を中止
 - ※ 新米パパママ応急手当講習会3月分を中止

II 収益事業等

防災・救急関係図書等販売事業（収1-1）

防火・防災、救急に関する図書、資器材等の販売、法令に基づく防火対象物の認定証頒布等、次の事業を実施した。

1 防火・防災、救急関係図書の販売

- 2 防火・防災、救急関係資器材の販売
- 3 防火セイフティマーク、優良防火対象物認定証等の頒布

III その他法人の目的を達成するために必要な事業

1 協会上申による表彰関係

- (1) 総務大臣賞
安全功労 (1 団体)
- (2) 消防庁長官賞
 - ア 危険物保安功労 (1 名)
 - イ 優良危険物関係事業所 (1 団体)
 - ウ 消防設備保守功労 (1 名)
- (3) 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長賞
 - ア 消防設備保守功労 (5 名 2 団体)
 - イ 防災安全功労 (1 名 1 団体)
- (4) 一般財団法人全国危険物安全協会理事長賞
 - ア 危険物保安功労 (2 名)
 - イ 優良危険物関係事業所 (1 事業所)
 - ウ 感謝状 (1 名)
- (5) 関東甲信越地区危険物安全協会連合会長賞 (4 名 2 事業所)

2 協会理事長による表彰

- (1) 防災安全功労者 (60 名 20 事業所)
- (2) 危険物保安功労者 (46 名 35 事業所)
- (3) 消防設備保守功労者 (11 名 10 事業所)
- (4) 協会運営等功労 (2 事業所)
- (5) 感謝状 (48 名)

3 システム整備の推進

- (1) 統括本部移転に伴うシステム環境の整備 (5 月～翌 2 年 3 月)
- (2) システム監査の実施 (3 月 9, 10, 11, 13 日)
 情報セキュリティに関して、専門的かつ客観的な視点により協会の現況を可視化させることを目的とした第三者機関による外部監査を実施し、職員ヒアリング、現地調査、サーバ脆弱性診断等を通じて情報セキュリティ上の課題を明確化させた。

IV 協会の運営管理

1 評議員会及び理事会の開催

- (1) 評議員会
 - ア 第 30 回評議員会 (令和元年 6 月 21 日)
 - 第 1 号議案 「平成 30 年度事業報告及び附属明細書の報告について」
 - 第 2 号議案 「平成 30 年度決算報告(貸借対照表及び正味財産増減書の附属明細書)及び財産目録の承認について」
 - 第 3 号議案 「東京都に対する財産目録等の提出について」
 - 第 4 号議案 「評議員の補欠選任について」
 - 第 5 号議案 「監事の補欠選任について」
 - 第 6 号議案 「理事の選任について」

- 第7号議案 「役員報酬額の改定について」
- イ 第31回評議員会（令和2年3月18日）
 - 第1号議案 「役員報酬額の改定について」
- (2) 理事会
 - ア 第39回理事会（令和元年6月6日）
 - 第1号議案 「平成30年度事業報告及び附属明細書の承認について」
 - 第2号議案 「平成30年度決算報告(貸借対照表及び正味財産増減書の附属明細書)及び財産目録の承認について」
 - 第3号議案 「第30回評議員会の議題の追加について」
 - 第4号議案 「会計処理規程の一部改正について」
 - 第5号議案 「第31回評議員会(3月期)の招集について」
 - イ 第40回臨時理事会（令和元年6月21日）
 - 第1号議案 「理事長の選定について」
 - 第2号議案 「副理事長の選定について」
 - 第3号議案 「専務理事の選定について」
 - 第4号議案 「理事長の選定について(令和元年7月1日付)」
 - 第5号議案 「副理事長の選定について(令和元年7月1日付)」
 - 第6号議案 「専務理事の選定について(令和元年7月1日付)」
 - 第7号議案 「重要な使用人の選任について」
 - ウ 第41回理事会（令和2年3月3日）
 - 第1号議案 「令和2年度事業計画及び収支予算書等の承認について」
 - 第2号議案 「第32回評議員会(6月期)の開催について」

2 防災関係団体等との連携交流

防災関係団体等との連携交流を目的として、令和2年1月17日に賀詞交換会を実施した。

3 職場体験の受け入れ

首都大学東京（現東京都立大学）が開講する科目「現場体験型インターンシップ」の実習として、池袋防災館（2名）及び立川防災館（2名）において、合計4名の実習生を受け入れた。（8月19日から8月27日）

4 会計監査等の実施

- (1) 監査法人による公益法人会計監査（期末監査）
令和元年5月15, 16, 17日
- (2) 監事による平成30年度事業、決算監査
令和元年5月22日
- (3) 監査法人による公益法人会計監査（期中監査）
令和元年11月11, 12日

5 職員募集活動の実施

令和2年度職員募集活動として協会業務説明会を実施した。
令和元年6月18, 19, 20日

6 情報セキュリティ委員会

個人情報漏えい等のセキュリティ事故発生に伴い、速やかに情報セキュリティ委員会を開催し、事故根絶のため再発防止策を推進することとした。

(令和元年12月19日、令和2年1月19日)

7 固有職員の教育及び業績評価制度の見直し

固有職員の職務能力向上等を図るため消防署研修を実施した。

(令和元年12月6, 10, 18日)

また、勤勉手当に成績率を導入し、従来の業績評価制度よりも精度を高めた評価制度に見直した。

8 契約事務

入札の効率化、適正化、透明性を図るため「ビジネスチャンスナビ」による電子入札を導入し推進した。(9件)

9 本部事務所の勤務環境改善

本部事務所の改修移転工事を行い、労働安全衛生法上に基づく気積をはじめ、空調設備等、従前より抱えていた勤務環境の問題の改善を図った。

V 主な視察・取材対応

1 視察対応

消防庁長官、都議会議員、区議会議員、市議会議員等をはじめ、各国大使館等、国内外59団体が当協会の視察に来訪した。

2 取材対応

国内外の報道機関、教育機関等から、当協会に対し99件の取材が行われ、防火防災意識や応急手当等の普及啓発の向上が図られた。

事業報告の附属明細書

令和元年度は、定款第8条第1項第2号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はなし。